



# 園長便りひがし

令和6年5月1日  
宮崎ひがし幼稚園  
文責園長 花宮 伸利

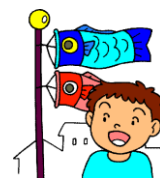
## 歓迎遠足

4月20日土曜日に久峰公園で歓迎遠足が行われました。お天気が心配されましたが、おかげさまでお昼までは何とか降らずにみんなで楽しむことができました。進級して新しい友達と一緒に体操をし、ご家族の皆様と楽しいダンスを踊ることができました。親子ゲームでは楽しい中に、一生懸命に勝とうとする姿が見られ、盛り上がりました。その後、クラスごとに集合していただいて、自己紹介、学級役員さんが決まりました。ご多用の中、参加していただいて本当にありがとうございました。久峰公園の遊具も新しくなっていて、子ども達もおおはしゃぎでしたね。



## 個人面談

4月22日（月）から26日（金）にかけて、個人面談が開かれました。子ども達のより良い成長につなげられるように情報を共有することでこれからの保育につなげていきたいと考えています。どうもご協力ありがとうございました。



## 子どもの可能性

2009年「国際ピアノコンクール」で金賞（優勝）という、日本人初の快挙を成し遂げたピアニスト、辻井伸行さん。小眼球症で生まれつき光を感じることがない伸行さんの母である辻井いつ子さんが次のように話しています。

生後8か月のとき、彼は『英雄ポロネーズ』の音楽を聴くと、手足をバタバタさせてとても喜んでいたのですが、CDにキズがついてしまいました。新しい『英雄ポロネーズ』のCDを買って、再びかけても伸行の機嫌が直らないのです。以前のCDとよく見比べてみると、ピアニストが違っていたのです。急いで前のCDの演奏者のCDを買って聴かせると、伸行はすぐに上機嫌に！手足をバタバタさせて反応するのです。そのとき、この子は音楽に敏感なんだ、と気づきました。

また、伸行が2歳3か月のとき、私が口ずさんでいる『シングルベル』のメロディーをおもちゃのピアノの鍵盤を叩いて弾いている伸行を見て、驚きました。それから、伸行のピアノの腕はどんどん上がっていきます。

私は彼が弾く演奏を聴いて、いつも「すごい！上手。どうしてこんなに弾けるの！」とほめてきました。私自身は、ピアノが弾けず、上手だなあと心の底から感じるのです。すると伸行は「じゃ、次はこの曲を聴かせてあげるね」なんて言って、積極的に練習をします。私は一度も「練習しなさい」と言ったことはなく、いつも、自分から進んで練習をしていました。ピアノを弾くことがとても好きで、やめたいと思ったことは、一度もありませんでした。

親や保育者は、子どもの努力しよう、向上しようという意志に十分こたえてやるのが大切ですね。本当に愛情ある気持ちで見守り、褒めてあげることにより、次の努力を生み出すきっかけになると思います。植物の性質には、向日性というのがあります。これは、光のさす方へ伸びようとする性質ですが、これは植物だけでなく人間の成長にもあてはまるとのことです。人間は自分の能力を認めてくれ、その努力にこたえようとする方へ伸びていこうとします。子どものよさを見つけ、それを伸ばすように保育者や周りの大人は努力しなければならないと思います。